

ちょっと待って！それ詐欺ですよ

注意が必要なキーワード

【オレオレ詐欺】

電話を使い、子や孫、警察官、弁護士を装い、「会社のお金を使い込んでしまった」などと金銭を要求する詐欺

「携帯電話が変わった」「風邪をひいて声が変わった」「今すぐお金が必要」など

【融資保証金詐欺】

はがきやメールで「誰でも融資可能」などと持ちかけ、「保証金」や「手数料」という名目で金銭をだまし取る詐欺

「融資前の保証金」「返済能力を確認したい」「個人情報削除金」など

【架空請求詐欺】

「未払いの有料サイト（インターネット）利用料を支払え」などとかたり、金銭を要求する詐欺

「ウイルス除去費用」「退会手続きが必要」「個人情報削除金」など

【還付金等詐欺】

市の職員などを装い、「還付金があるからATMで手続きしてほしい」と誘い出して金銭をだまし取る詐欺

「医療費の払い戻し」「税金の還付金手続き」「ATMで手続きできる」など

“新型コロナウイルス感染症”に乗じた詐欺が発生しています

現在、新型コロナウイルス感染症が世界的に広がっており、これに乗じた詐欺が多発しています。主な手口は次のとおりです。いずれも社会不安を煽る悪質なものばかりですので、「自分は大丈夫」と侮らず、皆さんも十分に注意しましょう。

- 【事例1】市役所職員を名乗る男性から「80歳以上の方は、補助金が60万円支払われます。キャッシュカードと印鑑証明書1通を用意してください」との電話があった。
- 【事例2】〇〇市新型コロナウイルス対策本部を名乗る男性から「コロナウイルスに関する給付金が10万円出ますので、市役所職員が書類を持って伺います。お時間は何時ごろがよろしいでしょうか」との電話があった。
- 【事例3】女性の声で自動音声ガイダンスが流れ、「コロナの関係で国民に10万円が振り込まれます。その代行サービスを行っています」などの内容の電話が一方的にあった。
- 【事例4】保健所職員を名乗る男性から「コロナの検査キットを送りますので、家族構成を教えてください」などの電話があった。

特殊詐欺は年々、手口が巧妙になっています。都市部ではキャッシュカードや、現金を直接受け取るなどの手口が多くみられます。一方、地方ではATMからの振り込みや、コンビニで電子マネーを購入させる手口などが増加しています。

被害に遭わないためにも「電話番号が変わったと言われても、今までの番号に電話してみる」「少しでも不審に思ったら、家族や警察に相談する」といった行動を実践しましょう。

特殊詐欺に関するご相談は、留萌警察署（電話：42-0110）、警察相談ダイヤル（#9110）へ

特集



特殊詐欺にご注意を！

特殊詐欺の被害に遭わないために、未然に防ぐ方法や注意が必要なキーワードなどの知識を深めましょう。

問 市・危機対策室 TEL 56-5005

特殊詐欺の被害は285億円!?

▼特殊詐欺とは、面識のない人に電話やメール、はがき、ファクスなどを使い、うそをついてお金などを騙し取る詐欺のことを言います。警察省「オレオレ詐欺」「架空料金請求詐欺」など、10種類の手口を総称して特殊詐欺と呼びます。

警察庁がまとめた「特殊詐欺の発生状況等」によると、令和2年の被害総額はおよそ285億円となっています。

特殊詐欺の実例は、市内でも

▼道内の令和2年 特殊詐欺 発生状況は、認知件数183件、被害総額およそ5億円となっています。

【事例1】

息子をかたる男性から「会社の書類が入った鞆が、置き引きの被害に遭った。お金を貸してほしい」などと電話があった。

【事例2】

市役所職員を名乗る男から「介護保険料を返します。銀行に行って手続きをしてください」などと電話があり、この話を信じた被害者は、指示されたとおりに行動したところ、約100万円をATMで振り込み、還付金詐欺の被害を受けた。

すぐに金銭を振り込むのは絶対にやめましょう。電話をいったん切り、冷静になってから本人か確認しましょう。

「会社の書類が入った鞆が、置き引きに遭った。お金を貸してほしい」

「介護保険料を返します。銀行に行って手続きをしてください。銀行に行ったら、電話してください」

